

Wind

Take
Free

8
2023

MIHAMA

あいち知多のかんきつ

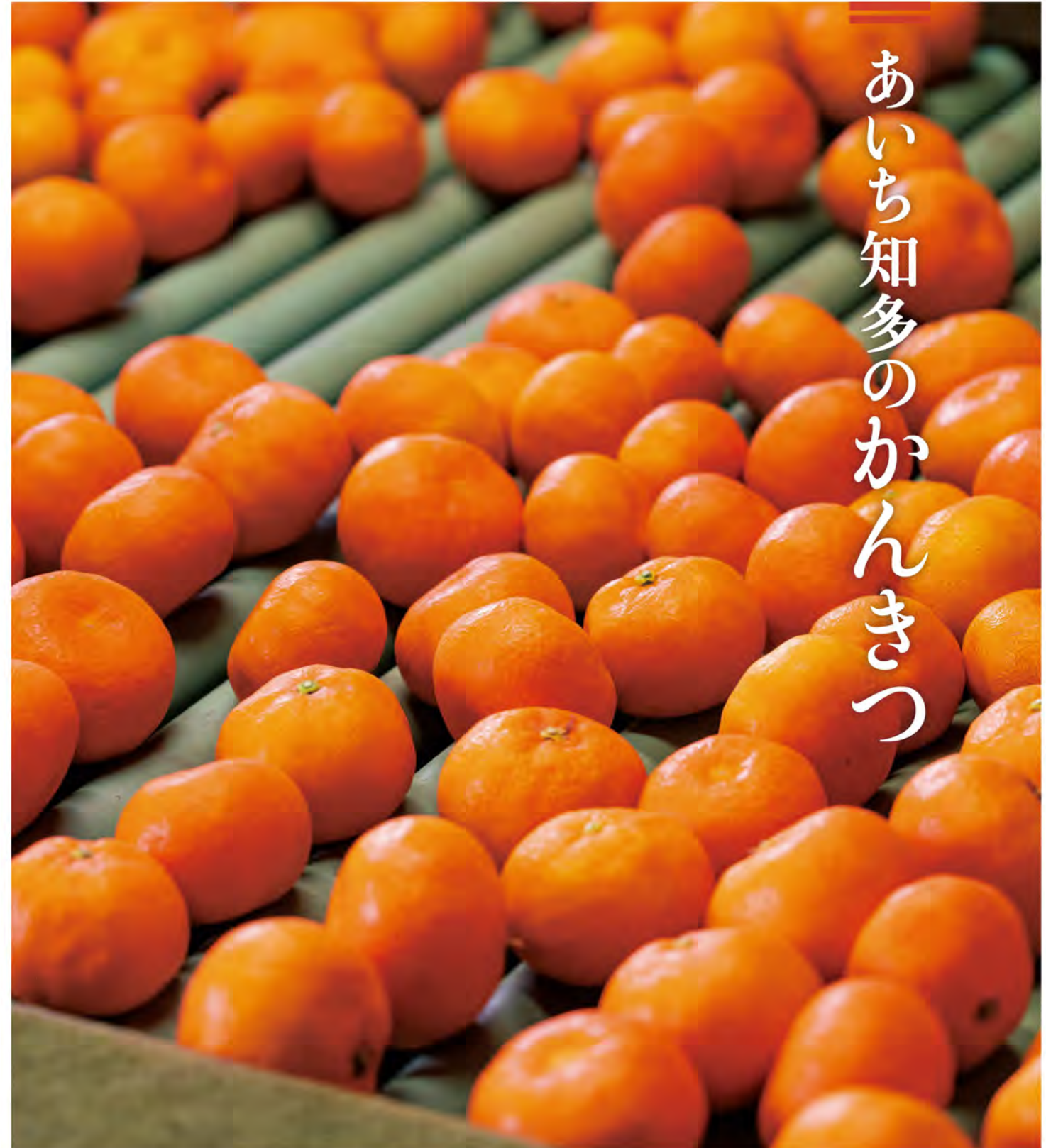




きらきらと輝く、豊かな自然の恵み。

江戸時代に始まり180年近い歴史を持つ「あいち知多のかんきつ」。いくつものブランドみかんが誕生し、全国にその名を広めた背景には、一致団結して互いに栽培技術を磨き合った生産農家の努力や、「自慢のみかんをもっと多くの人に届けたい」とPRに邁進した関係者、さまざまな形で地元の農産物を応援する人々の支えがあった。

あいち知多のかんきつ



露地みかんの畑は、風除けの防風林に囲まれていることが多い。収穫は秋から冬にかけて。写真提供：山笑う里



室内の温度を上げて開花を早め、人工的に果実を成熟させるハウス栽培。春から秋にかけて収穫できる。

江戸時代に始まる知多のみかん栽培。

名古屋市南部から南に突き出た知多半島。東は三河湾、西は伊勢湾に面し、温暖な気候で知られる土地だ。「美浜町誌」によれば、江戸時代末期、現在の南知多町内海で行われた温州みかんの試植を起源に、この地域ではみかんが盛んに栽培されるようになったという。

昭和44年(1969年)には、半島の先端近くにある美浜町でハウスみかんの試作が行われ、それ以来、ビニールハウスを用いる栽培が拡大する。「当時、仲間と一緒に全国の産地を視察しました」と話

すのは、美浜町のかんきつ生産農家・鶴飼泰弘さん。現在のこの町は知多を代表するみかんの産地となっている。「知多半島の日照時間は国内でもトップクラスなんだそうですね」と、鶴飼さん。みかんの露地栽培に適した日当たりと水はけの良い山の斜面は、知多半島のあちらこちらで見られる。一方、平坦な土地も十分にあり、ハウスを建てて収穫時期をずらした栽培もできる。露地とハウス両方の栽培が行われることで、知多のみかん栽培は発展してきたのだ。

ブランドみかんで産地の知名度アップ。

「あいち知多のかんきつ」が県外にも広く知られるようになったのは、地域をあげて開発したブランドみかんの存在が大きく影響している。なかでも、「紅オレンジ」が濃い「と表現されるほど果皮に赤みのある「みはまっこ」は、糖度13度以上という甘みの強さでひととき話題に。「美浜の環境に合った栽培方法をみんなで研究しました。名古屋や東京へ売り込みにも行きましたよ」と、鶴飼さんは振り返る。

平成13年(2001年)には、地域社会の発展に貢献した農業者を表彰する日本農

業賞において、「みはまっこ」が優秀賞を受賞。今では有名果物専門店や百貨店などでも取り扱いはある。その後、「さわみっこ」「あまみっこ」といったブランドも誕生し、それぞれにファンを獲得。いずれも商品名は公募で決めました。単独ではなく、生産農家が共同でブランド化に取り組むというやり方を貫いてきたのが私たちの強みですね」と、鶴飼さんは自信をのぞかせる。

甘味とコクがあり、果汁がたっぷりの「みはまっこ」。出荷は9月中旬まで。



ハウスで色づきはじめて頃の「さわみっこ」。



「さわみっこ」の皮は黄緑色。みかんらしい酸味がありフレッシュ。出荷は9月中旬まで。



木の根元をシートで覆って水分を抑え、糖度を高めた「あまみっこ」。出荷期間は11月中旬～12月下旬。

美浜町生まれ。25歳頃からみかん栽培に携わり、当地でのハウス栽培の草創期に立ち会う。「あいち知多かんきつ出荷組合」のメンバーであり、過去には組合長を務める。現在「みはまっこ」「さわみっこ」のほか、例年1月中旬から出荷されるポンカン「ちたポン」を、息子の大吉さんとともに栽培。「みはまっこ」は、食べる前に約30分ほど冷やすのがおすすめとのこと。

かんきつ生産農家

鶴飼泰弘

Ukai Yasuhiro





「みはまっこ」は果実の大きさごとに7階級に分類。専用箱で出荷される。



輝くような艶があり、濃い紅色をした最高級ランクの「みはまっこ」は、化粧箱に詰めて贈答用に。



あいち知多かんきつ出荷組合

美浜町を中心とした知多地域の生産者が加入し、共同で出荷を行うほか、栽培技術の向上に取り組む。生産されたかんきつ類はホームページから購入可能。



「JAあいち知多」の直売所。ブランドみかんの「みはまっこ」「さわみっこ」「あまみっこ」をはじめとする地元産のかんきつ類や、新鮮な野菜、米、花なども扱う。

グリーンセンター美浜

知多郡美浜町河和北田面71-1
☎0569-82-5275
9:00~17:00 月曜休(8/14は営業)
河和線河和駅下車 徒歩約4分



自動化された出荷レーン。傷などは目視で確認し、サイズ分けされて箱詰め工程へと進む。途中には、糖度をチェックする機械も。

各生産農家が丹精込めて育て、収穫されたかんきつ類の多くは、「あいち知多かんきつ出荷組合」の共選場を集められる。ここでは糖度や色づき、傷のチェックを行い、サイズごとに箱詰め。直接、注文のあった消費者や、青果市場、直売所などへ出荷される。また地元の特産品として、かんきつ類を使った加工品を作る業者もあり、知多地域の道の駅や産直市場などで購入できる。

かんきつ類の一大生産地である知多でも、「みはまっこ」の生産農家が最盛期の3分の1以下にまで減少しているように、後継者不足は否めない。近年は燃料費の高騰などもあり、離農する人が少なくないという。果樹の場合、植え付けから収穫までに数年かかるというのも、新規就農者がなかなか増えない要因のひとつだ。「厳しい状況は続くだろうけれど、生き残ってほしい。覚悟を持ってやっていきます」という鶴飼さん親子のように、より良いものを届ける努力を惜しまない前向きな生産農家たちを、これからも応援したい。



美浜産のみかんを使った「みかんゼラート(300円)」、「みかんだレッシング(200ml、551円)」ともに「ジョイフルファーム鶴の池(P5)」で販売。



自慢のかんきつを全国の消費者へ。



会社勤めを経て、7年ほど前から家業に入った大志さん。今では父の右腕として活躍する。



「みはまっこ」は果肉の色も濃く鮮やか。「酸があるから、ただ甘いだけのみかんではない」と、鶴飼さん。

じっくり手をかけ、理想の味を目指す。

6月上旬、鶴飼さんのハウスでは「みはまっこ」が収穫の時期を迎えていた。「11月頃から暖房で加温して年内に花を咲かせます。人工的に季節を早めるんです」。真冬の夜間でも、ハウス内の温度は24度以上に保ち、夏のような環境を作り出す。また、甘いみかんにするための水のやり方にも工夫がある。「実の大きさが30mmぐらいになったら、水やりを一定期間ストップ。木がストレスを感じて糖度が高くなります」。その後、水やりを再開するのだが、そのタイミングの見極めも肝心だ。順調に育てば1本の木に800〜900個の実がつく。この地域は土壌の酸性度が高いた



樹上で完熟させる「みはまっこ」。収穫後は枝を剪定し、肥料を与えて来季に備える。

め、甘さだけでなく味わいにコクが生まれるのだという。「みはまっこ」を名乗るには、厳格な基準がある。糖度・酸度の条件を満たさなければ出荷することができず、栽培期間中に何度も測定を行う。「栽培技術やノウハウは共有し、みんなでいいものを作ろうと頑張っている。毎年、楽しみにしてくださるお客さまがいて、美味しかったという声を聞けると良かったなと思います」と、鶴飼さんは顔をほころばせる。お盆を過ぎれば今年の「みはまっこ」の出荷もそろそろ終盤。少し先まで出回る「さわみっこ」や、秋冬の「あまみっこ」、露地みかんにもそれぞれの味わいがあり、違いを楽しんでみるのも良いだろう。



冬場には大きな暖房設備でハウス内を暖める。水やりは木の根元に渡したスプリンクラーで。



東向きの斜面から海を望む。春分・秋分の頃には、正面の水平線から朝日が昇る。



小川を渡り緑の小径を抜け、階段を登って…。店に入るまでのアプローチも楽しい。



前身となる店の開業から30余年、伝統菓子から創作菓子まで幅広く手掛ける。カフェでは、自家製アイスクリームと旬の果物を使った華やかなパフェが名物。

フレベール ラデュ

知多郡美浜町北方立戸14-5
☎0569-82-3568
10:00~16:30(ラストオーダー)
火曜・水曜休(祝日の場合は営業、振替休日あり)
※8/15は営業
河和線河和駅下車 徒歩約8分



Instagram

ようやく出会えた
運命のような場所。

開業の地・愛知県豊明市で約20年。その後、「海と緑のある場所を探して各地をめぐり、ようやくここにたどり着きました」と、長瀬シェフは話す。竹が生い茂る傾斜地を切り開くところから始まった店造り。数々の苦勞を乗り越え、恵まれたロケーションを生かした非日常の世界を作り上げた。とはいえ、これでもまだ完成ではないのだそう。「新しいテラス席を造りたいんです。海の見える景色をバックにケーキやパフェを味わう、お客さま自身が風景の一部になるような。そんな場所です。時間と素敵だと思いませんか？」と、目を輝かせる。

お気に入りの町で、これからも。

店の敷地内を散策すると、季節の花々に紛れて、さまざまな果樹が植えられているの気がつく。「ブドウや桃、栗、ブルーベリーのほか、ミントなどのハーブ類もたくさん。年々うまく育ってくれるようになりまして」と、長瀬



シェフ。一部はお菓子にも使っているそうで、「移転前から思い描いていた理想のかたちに近いと思います」という。「良い素材を見つけると、新しいお菓子のアイデアが湧いてくる」。最近では、美味しい地元産ブルーベリーとの出会いがあったとか。「ひらめいたらすぐに作ってみる。新作も頻りに登場しますよ」。今後この場所から、魅力的なお菓子が次々に生まれることだろう。

フレベール ラデュ
オーナーシェフ

長瀬 岳二
Nagase Takeji



名古屋市に生まれ、高校卒業後は東京の製菓専門学校へ。東京・大阪の洋菓子店で経験を積み独立開業。豊明市内で約20年間営んだのち、平成24年(2012年)に美浜町へ移転。カフェ併設のパティスリーを妻の富美子さんとスタッフとともに切り盛りし、お菓子作りの合間には、季節の花々や果樹の手入れ、ウッドデッキなどのDIYまで手掛ける。



「えびせんべいの里」の姉妹会社「山笑う里」が運営する農園では、例年10月下旬からみかん狩りをスタート。温州みかん「宮川早稲」を1時間好きなだけ味わえる。例年1~6月は、いちご狩りも人気。



山笑う里
秋が待ち遠しい！
澄んだ青空の下で
みかん狩り体験。

知多郡美浜町北方吉田流52-1 ☎0569-82-0248(窓口:えびせんべいの里)
※みかん狩りは土日祝のみ開催、10:00~15:00(受付終了)、
開催時期、料金などはホームページにて
河和線河和駅から巡回ミニバス(美浜町役場から乗車)「産業会館」下車 徒歩約10分



心を癒す風景と、季節ごとの豊富な食材に恵まれたこの土地に根を下ろし、花を咲かせる店を訪ねて。

Innovation
美浜町だからこそ実現できた、
理想のパティスリーのカタチ。

地元の食材で地産地消のお菓子づくり。

知多半島の東海岸沿い、三河湾を望む小高い場所に建つ、パティスリー・カフェ「フレベールラデュ」。名古屋や関西方面からわざわざ足を運ぶ人たちの目当ては、ここならではのロケーションと、旬の果物に美しく彩られたケーキやパフェだ。

夏季限定の「美浜サンライズパフェ(1800円)」は、地元が誇るハウスみかん「みはまっこ」を水平線から昇る朝日に見立てて命名されたもの。「みはまっこ」を使った自家製アイスクリームに、フレッシュな果肉も贅沢にトッピングしている。「甘さはもちろん、味の深みや濃さが違う」。



仕上げに鉛細工を飾って涼しげに。「美浜サンライズパフェ」は8月下旬までの期間限定。



地元産の果物はシェフ自ら産直市などで仕入れる。町内製造の「美浜の塩」はミネラル豊富。

初めて食べた時には驚きました」と話すのは、オーナーシェフの長瀬岳二さん。夏場に食べられるみかんという珍しさもあり、鮮やかな色を生かしたドーム型のケーキ「サンシャイン(880円)」も作っている。

「みはまっこ」以外にも、パッションフルーツやレモン、海の水から作った自然塩など、シェフの作るスイーツには美浜町の食材がふんだんに使われている。「うちは他県からのお客さまも多いので、美浜町のPRになればいいな」と思っているんです」という長瀬シェフ自身が、地元食材の大ファンだ。

採れたて地元農産物の直売所やレストラン、みかん狩りやぶどう狩りができる観光農園などの複合施設。ハウスみかん「みはまっこ」「さわみっこ」は、化粧箱入りの贈答用のほか、バック入りの家庭用も扱う。

PRESENT ▶ P13

知多郡美浜町上野間中新田10 ☎0569-87-6080
8:00~16:30(レストランは~15:00)
無休(レストランは月曜休、祝日の場合は営業)
河和線河和駅から巡回ミニバス(美浜町役場から乗車)「鶴の山」下車、または知多新線上野間駅下車 徒歩約20分
※上野間駅から送迎あり(要電話連絡)。



ジョイフルファーム鶴の池
各種かんきつ類や
朝採れ新鮮野菜が
すらりと大集合。

01

弘法大師生誕1250年の記念の年にお参りを。



慶長元年(1596年)に開かれた曹洞宗の寺院。山号は龍華山といひ、御本尊は弥勒菩薩です。「知多四国八十八ヶ所霊場」の第26番札所にあたり、本堂の隣には立派な弘法堂も。また、「南知多三十三観音霊場」の第2番札所でもあるため、弘法大師像と並んで千手観音像が祀られています。今年には弘法大師の生誕1250年にあたることから、通常の納経印に加えて記念の宝印がいただけます(令和6年6月30日まで)。

本堂、弘法堂にお参りしてから納経印をいただきます。記念の宝印は左上に。
弥勒寺
知多郡美浜町北方西側16 ☎0569-82-0511
参拝自由(納経所は7:00~17:00)



三河湾に抱かれた海辺の町を散策。美味しい寄り道も楽しみましょう。

03

みんなでべったん! 楽しい手作り体験。

美浜町で創業約60年の海鮮せんべいメーカーによる、せんべいのテーマパーク。原料を贅沢に使って風味豊かに焼き上げた、自社製造のせんべいがずらりと揃います。さらに見逃せないのが、せんべいの手作り体験「たこべったん」。タコやエビ、しらす、大アサリの4種類から好みの具材を選び、専用の機械でぎゅっとプレスしたら約3分で完成です。パリッと香ばしい焼き立ての味は格別。お土産にしても喜ばれます。



手前左から、「産地直送シリーズ たこ・あかしや海老・しらす(各650円、3個セット1,750円)」、「いかたこの唐揚げ(各800円)」。



「たこべったん(1枚600円)」。焼き上がりは、顔よりも大きなサイズに。手作り体験の予約は不要。



えびせんパーク
知多郡美浜町河和上前田371-1
☎0569-83-0270
9:00~17:00
※「たこべったん」は10:00~15:00 無休
PRESENT▶P13

04

地元が誇る名店が裏道にひっそりと。

通りから一本裏に入った立地にもかかわらず、口コミで評判を呼ぶ、創業40年の店。コシがあるもちもち食感のうどんのほか、煮込み専用のうどんやそばもすべて自家製で、その日の気温や湿度に応じて水分量などを調整する細やかなさ。合わせるつゆも、3か月以上寝かした「かえし」をベースにするなど、隅々まで手間を惜しみません。天ぷらや唐揚げは注文が入ってから揚げるため、熱々でサクサク。麺類とのセットメニューはボリュームもあり、お得です。



程良い甘さのつゆに冷たいうどんがよく絡む「唐揚げ入りコウうどん(900円)」。炒り卵も名脇役。



大きなエビ天が嬉しい「ミニ天丼とミニざるそばセット(1,200円)」。ミニうどんのセットは1,000円。



めん処 三平
知多郡美浜町北方1-55 ☎0569-82-4066
11:00~14:15(ラストオーダー)、
金曜・土曜は11:00~14:15、17:30~20:00(ラストオーダー)
日曜、第1・3月曜休、お盆休あり

05

美浜町内をめぐって かつば家族にご対面。

美浜町内の海岸沿いに立つ3体のカッパ像は、昭和30年代にオープンした3つの海水浴場のシャワーとして誕生。後年「家族一緒に」との声を受け、河和港の高速船乗り場前に「かっぱの苑」が誕生しました。新しく作られた父・母・娘像に加え、娘かつばのお婿さんや孫なども加わりにぎやかです。



「母ちゃんかつば・ゆり子(右)は河和海岸、「娘かつば・花ちゃん(下)は河和口駅前に。
カッパの苑
知多郡美浜町河和北屋敷(名鉄海上観光船河和営業所前)
☎0569-83-6660(あいち美浜町観光協会)

イベント情報

8月5日(土)・19日(土)、
9月2日(土)・9日(土)・16日(土)・23日(土・祝)
ナイトアクアリウムツアー
■場所/南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国

8月14日(月)・15日(火)
河和学区盆踊り
※花火大会は15日(火)20:00~21:00
■場所/河和港

8月26日(土)・27日(日)
SOUL FOOD JAM in MIHAMA
■場所/南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国
及びその周辺

~9月3日(日)まで ※9/1は除く
プールの中でイルカにタッチ
■場所/南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国
※詳しくはP10をご覧ください。

- 河和駅 徒歩約5分 ▶ かつばの苑
- 河和駅 徒歩約15分 ▶ えびせんパーク
- 河和駅 徒歩約25分 ▶ グリーンセンター美浜
- 河和駅 徒歩約8分 ▶ 弥勒寺
- 河和駅 徒歩約6分 ▶ フレベールラデュ
- 河和駅 徒歩約8分 ▶ 河和駅

知多郡美浜町
みはまちょう
名鉄名古屋駅~河和駅へのアクセス
●河和行特急に乗車約55分
●片道運賃:950円
人口:20,980人(2023年3月現在)
昭和30年(1955年)に河和・野間の2町が合併し、美浜町として発足。2年後に小鈴谷町上野間地区が加わり、現在の町域となりました。知多半島南部に位置し、東は三河湾、西は伊勢湾に面しています。



◎コンビニエンスストア ◎ガソリンスタンド

02

こだわりの自家焙煎コーヒーを気軽に。



テイクアウトの「ドリップコーヒー(180円)」、「抹茶ラテ(280円)」。
「カフェラテ(480円)」。エスプレッソをかけてアフオガード風にいただく「コーヒーゼリーパフェ(700円)」。

河和駅ビル内で40年近く営まれる喫茶店。スペシャルティコーヒーを中心とした焙煎所「サードウェーブコーヒー」の実店舗として、マスター自ら焙煎したコーヒーが味わえます。「駅を利用する人のために」と、店先にはテイクアウト用のカウンターを設置。また、レトロな雰囲気の店内では、コクのある「自家製カレ(880円)」や種類豊富なランチセット(各980円)など、食事のメニューも充実しています。



カフェ ラ・メール
知多郡美浜町河和北田面5-1
☎0569-82-3723
7:00~17:00(月曜は~14:00)
月曜不定休



自家焙煎のコーヒーがおいしいです!

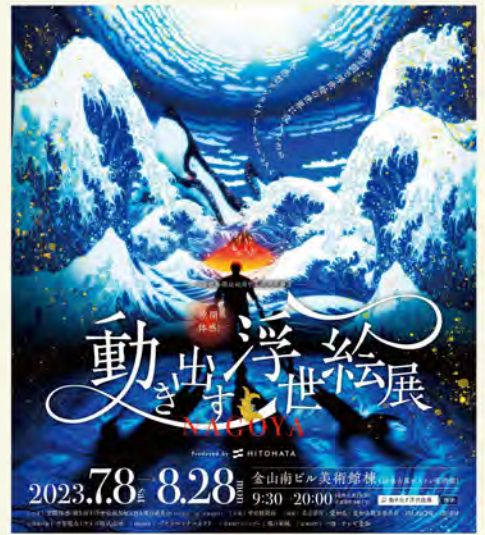
動き出す浮世絵展NAGOYAきっぷ

■期間/8月28日(月)まで

葛飾北斎や歌川国芳、歌川広重、喜多川歌麿、東洲斎写楽、歌川国貞など世界的な浮世絵師の作品300点以上をもとに、3DCGアニメーションやプロジェクションマッピングを駆使し、6つの立体映像空間で浮世絵の世界に没入できる体感型デジタルアートミュージアム「空間体感! 動き出す浮世絵展 NAGOYA」。時代を超えて世界を魅了し続ける浮世絵の傑作の数々がダイナミックに躍動する没入型展覧会で、大人から子どもまで楽しめます。8月28日まで発売している「動き出す浮世絵展 NAGOYAきっぷ」は、名鉄電車往復乗車券や入場券、ミュプラット金山で利用できるクーポン券などのほか、きっぷ限定特製うちわもセットに。ぜひ、おトクなきっぷでお出かけください。



詳しくはこちら!



世界から「ジャパン・ブルー」と絶賛される、水の表現を体感する藍色の世界「ROOM 藍」。



繊細に表現された美人画と、花の世界をめぐる「ROOM 麗」。

ツウな体験・遊び・ 観光プログラムの予約サイト 「旅ろっ! 愛知」

「旅ろっ! 愛知」は、今までのあなたの旅にはなかった楽しみや体験を発信している旅の情報メディアです。見たことない景色や、見つからなかったアクティビティ、誰も知らなかった愛知グルメなど、今まで体験したことのない旅をご用意しました。行きたいエリアやテーマ、所要時間、料金など、ご希望の旅に合わせて検索が可能。ツウな体験や遊び、観光プログラムなどの予約サイト「旅ろっ! 愛知」で、あなたに合った「ツウ」な旅を探してみませんか?

旅ろっ! 愛知
Tabiro! Aichi



いろいろな「のりものカード」を集めよう 「のりものカード」配布開始!



「のりものカード」は、各社等が運行している電車・バス・船などの特徴や情報を掲載するほか、じゃんけんやすごろくなどでも遊べるカードです。東海地方の20団体が参加し、それぞれの「のりものカード」を枚数限定で配布します。各社等によって配布方法や場所が異なりますので、詳しくはwebサイトでご確認ください。名鉄の「のりものカード」は、8月・9月に各1,000枚配布予定(下記参照)です。



詳しくはこちら!

配布情報

- 8月8日(火) 初列車～終列車
東岡崎駅開業100周年に合わせ、東岡崎駅にて硬券入場券または磁気入場券をご購入のお客さまに1,000枚限定で配布
- 9月3日(日) 初列車～終列車
神宮前駅開業110周年に合わせ、神宮前駅にて硬券入場券または磁気入場券をご購入のお客さまに1,000枚限定で配布

PRESENT ▶ P13



今年もファミリーで楽しめる 「水の楽園 モンプル」営業中!

■期間/8月31日(木)までと、9月2日(土)・3日(日)・9日(土)・10日(日)



小さなお子様でも安心して入ることができ、水深15cmの浅瀬のプールや、お子様のプールデビューに最適な水深30cmの「チビツギガーデン」など、ファミリーで水遊びができる「モンプル」。スライダーも身長制限があるスリリングなものから、年齢で分けられたゆるやかなもの、専用のボートに乗って滑るものなどさまざま。また、屋根付きの無料休憩スペースのほか、事前予約制の有料休憩スペース「グリーンシート」「バラソルシート」もあります。



詳しくはこちら!



©水木プロ

水木しげるの世界の妖怪×リトルワールド 「世界の妖怪博」開催中!

■期間/11月26日(日)まで

日本の妖怪漫画の第一人者である水木しげる氏は日本の妖怪だけでなく、世界の妖怪も数多く描きました。「世界の妖怪博」では、水木しげる氏の描いた世界の妖怪から100点もの妖怪画をリトルワールドの所蔵品とともに展示。また、体験展示として、世界の妖怪たちとふれあうコーナーも登場。呼びかけると妖怪たちが出現するなど、妖怪たちと出会う体験がいろいろ。ほかにも、謎解きゲームや妖怪探し、コラボフードなどもあり、盛りだくさんのイベントです!



詳しくはこちら!

ビーチランド初開催! プールの中でイルカを抱っこ

■期間/9月3日(日)まで ※9/1は除く



毎年恒例の「プールの中でイルカにタッチ」は、水深約40cmのプールに入り、目の前を泳いでくイルカの背中に触ることができる、夏の人気イベント。さらに今年は、ビーチランド初開催となる「プールの中でイルカを抱っこ」が始まりました。イルカを飼育しているプールに腰まで入り、トレーナーのお話を聞きながら距離感ゼロのふれあいを。最後にはイルカを水中でハグをして記念撮影もできます。期間限定ですので、この機会にぜひご参加ください!



詳しくはこちら!

浴衣なら入村料が半額になる「宵の明治村」

■開催日/8月5日(土)・6日(日)・10日(木)~16日(水)・19日(土)・20日(日)・26日(土)・27日(日)

夏恒例のナイター営業「宵の明治村」を開催します。開催日は20時30分まで延長開村し、浴衣で来村された方は入村料が半額になるほか、おまつり広場や謎解きゲームなどの割引券も進呈。帝国ホテル中央玄関前芝生広場付近では、ライトアップされた歴史的建造物と花火を一緒に楽しめる「花火競演」や、「野外ステージショー」なども開催します。今年の夏は「宵の明治村」で素敵な思い出をつくりましょう。



JAZZコンサートをはじめ、「明治偉人隊」が歌や踊りを披露する「野外ステージショー」。
※開催日により公演内容が異なります。



詳しくはこちら!



ウマイ写真より エモい写真、募集! My EMOTION! フォトコンテストを実施します!



詳しくは
こちら!

■応募期間/8月1日(火)~9月18日(月・祝)

名鉄沿線のまだ知られていない魅力を発信してきた「EMOTION!」。これまで10地域にスポットを当ててきましたが、ほかにもまだまだ知らない魅力がたくさんあるはず。そこで、皆さまが知っている街の魅力を写真というカタチで募集します。見たことのない風景や、その地域ならではの暮らしや人など、あなたの心を動かした一枚をお待ちしています。特別審査員として、「EMOTION!」シリーズを撮り続けているカメラマンの濱田英明さんと、「EMOTION!」のイメージキャラクターである河村花さんが参加します。入賞者には豪華賞品をプレゼントするほか、入賞作品は「EMOTION!トレイン」となって車内に展示されます。あなたが見つけた「EMOTION!」な写真、お待ちしております!

賞品

グランプリ
1名

名鉄観光サービスで行く
あなたのEMOTION!な旅をプレゼント
(20万円相当)

準グランプリ
2名

中日本航空 ヘリコプタークルーズまたは
ホテルインディゴ犬山有楽苑 ペア宿泊券
(1泊2食付)

そのほか、特別審査員賞や地域賞など
合計30名様に豪華賞品をプレゼント!



STEP 1

Instagramを
インストール

STEP 2

EMOTION!
公式アカウント
(@meitetsu_emotion)を
フォロー

STEP 3

エモい写真を
撮影

STEP 4

@meitetsu_emotionのアカウントをメンションし、
「#名鉄マイエモーション」のハッシュタグをつけて、
タイトル・撮影場所・撮影時のエピソードとともに投稿

※メンション、ハッシュタグ、タイトル、撮影場所、エピソードの記載がない投稿は無効とさせていただきます。

meitetsu
名鉄百貨店

名鉄百貨店 8月の催事情報

※都合により、変更・中止となる場合がございます。

本店「本館」7階催場	~1日(火)	チャリティー-美術品大入札会'23 [併催]第9回 名鉄クラシックカメラバーゲン
	3日(木)~14日(月)	ざんねんないきもの事典 in 名鉄百貨店
	16日(水)~28日(月)	美術の祭典 in めいてつ
	30日(水)~9月4日(月)	第4回 岩手県の観光と物産展

一宮店 6階イベント広場	~7日(月)	世界のクワガタ・カブト ~いち駅の森~大集合! (入場料:3歳以上800円) [併催]〈カミノリアル〉かき氷 期間限定出店
	9日(水)~21日(月)	お中元解体セール [併催]16日(水)~21日(月) 理由ありお買得市

※8月22日(火)は休業。

※写真はすべてイメージです。

名鉄沿線MAP

..... 地下鉄
..... 豊橋鉄道
—— バス
—— 高速船



名鉄沿線 8月の花火大会

- 1 1㉙~10㊿ 木曾川ロングラン花火
- 2 5㊿・18㊿・30㊿ 三好池まつり
- 3 5㊿・岡崎城下 家康公夏まつり 第75回花火大会
- 4 5㊿・6㊿ 御油夏まつり
- 5 11㊿・祝 第1回ぎふ長良川 花火大会
- 6 12㊿ 東海まつり花火大会
- 7 15㊿ 西尾・米津の川まつり
- 8 19㊿ 刈谷わんさか祭り2023
- 9 19㊿ 内海花火メ〜テレ 60周年記念大会
- 10 26㊿ 第10回新舞子 ビーチフェスティバル

8月の名鉄沿線イベントカレンダー

4㊿~6㊿	1 世界コスプレサミット2023	■場所/オアシス21、愛知芸術文化センター、大須商店街ほか ■瀬戸線栄町駅下車
~5㊿・18㊿~30㊿	2 日本三大稲荷・豊川稲荷 YORU MO-DE (ヨルモウデ)	■場所/豊川稲荷 ■豊川線豊川稲荷駅下車 徒歩約5分
25㊿~27㊿	3 第25回 にっぽんど真ん中祭り	■場所/久屋大通公園を中心に愛知県内各所 ■瀬戸線栄町駅下車
~28㊿	4 空間体感! 動き出す浮世絵展 NAGOYA	■場所/金山南ビル美術館棟(旧名古屋ボストン美術館) ■名古屋本線金山駅下車 徒歩約1分
~31㊿、 9/2㊿~11/26㊿の土日祝	5 岐阜城パノラマ夜景	■場所/岐阜城 ■名古屋本線名鉄岐阜駅から岐阜バス「岐阜公園歴史博物館前」下車、 ぎふ金華山ロープウェー山頂駅から徒歩約8分
~9/24㊿	6 豊田市美術館 企画展「吹けば風」	■場所/豊田市美術館 ■三河線豊田市駅下車 徒歩約15分

※上記は7月24日現在のものです。最新の情報は公式サイト等でご確認の上、おかけください。「新しい旅のエチケット」へのご協力をお願いいたします。

Wind Information

今月のプレゼント

<p>1</p> <p>P5 掲載</p> 	<p>2</p> <p>P7 掲載</p> 	<p>3</p> <p>P9 掲載</p> 
<p>ジョイフルファーム 鶯の池より 「いちごコンポート(2個セット)」を 5名様に</p>	<p>えびせんパークより 「なないろ玉手箱」を 10名様に</p>	<p>「のりものカード(4枚セット)」を 5名様に ※種類は選べません。</p>

応募方法

名鉄ホームページ、または右記QRコードよりご応募ください。
プレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。
▶ 締 切: 8月20日(日)

プレゼントへのご応募はこちら



S | N | S | で | 発 | 信 | 中 | !

Precious Stories取材時の様子や、リアルタイムなおでかけ情報など、誌面ではご紹介できなかったおすすめ情報を、InstagramとFacebookにて毎週配信。また、YouTubeではあいち知多のかんきつに携わる鶯飼さんのインタビュームービーを公開しています。ぜひフォロー、登録の上、お楽しみください!

Instagram



名鉄Wind

Facebook



名鉄Wind

YouTube



名古屋鉄道

9月号のPrecious Storiesは「豊橋筆／豊橋駅」です。9月1日の発刊をお楽しみに!

今月の名鉄グループ提供番組

※番組内容が変更となる場合がございます。

 <p>【東海テレビ】 金曜22:52より放送</p> <p>4日・11日・18日・25日 新羽島編</p>	 <p>【中京テレビ】 土曜11:45より放送</p> <p>5日・12日・19日 岐阜・郡上編</p>	 <p>【CBCテレビ】 日曜12:54より放送</p> <p>6日・13日・20日・27日</p>	 <p>【テレビ愛知】 月曜～金曜 17:26～17:30 日曜 22:48～22:54</p> <p>1週目 岡崎市 2週目 知多郡南知多町 3週目 知多郡武豊町 4週目 知多郡美浜町 5週目 知多郡阿久比町</p>	 <p>【ぎふチャン】 水曜21:56より放送</p> <p>2日・16日 水のある風景と 郡上踊り 9日・23日 付知峡 30日 傑作選</p>
--	--	--	--	---

〈プライバシーポリシーについて〉お客さまの個人情報は、プレゼントの発送及び、個人を特定できない統計データ作成にのみ利用いたします。また、ご応募いただいた個人情報を第三者へ提供することはありません。

※掲載内容は変更または中止になる場合があります。詳しくは各店舗・施設へお問合せください。最新の情報は公式サイト等でご確認の上、おかけください(すべて2023年7月24日現在のものです)。掲載価格はすべて税込価格です。QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

メイジノオト

「メイジノオト・ミニ」は、皆さまのココロや暮らしをちょっとだけ豊かにする、「明治村」に関わる情報をお届けするコーナーです。

第17回 夜空に上がる夏の風物詩

夏の風物詩、花火。東京・隅田川の花火大会は、江戸時代に起源を持ち、現在まで続く有名な大会です。初めは飢饉の犠牲者の鎮魂と悪疫退散を願って行われたといわれています。そんな花火を見つめていたのが、現在、明治村に移築された「隅田川新大橋」。今年も明治村の花火の輝きを見続けています。今日、見るような色鮮やかな花火が誕生したのは、明治時代以降の科学の進歩に負うことも忘れることはできません。



隅田川新大橋



「兩國花火之図」小林清親

明治をみつめる。
①をみつめる。
メイジノオト

